



## FAQ

- [ATA を使用してインターネットに接続できない](#) (1 ページ)
- [ファームウェアをアップグレードしたが、ATA が正常に動作しない](#) (2 ページ)
- [DSL サービスを使用して、インターネットに手動で接続できない](#) (2 ページ)
- [ダイヤルトーンが聞こえず、電話 1 または 2 の LED が緑に点灯していない。](#) (2 ページ)
- [インターネットフォンのコールを発信するとオーディオが分割される](#) (3 ページ)
- [Web ブラウザを開いたときに、ユーザ名とパスワードを入力するよう求められます。このプロンプトを無視する方法を教えてください。](#) (3 ページ)
- [DSL 電話回線が ATA WAN \(インターネット\) ポートに適合しません。](#) (4 ページ)
- [使用しているモデムにイーサネットポートがありません](#) (4 ページ)
- [ATA は、ケーブル接続用の同軸ポートを備えていません。](#) (4 ページ)

## ATA を使用してインターネットに接続できない

### 手順

**ステップ 1** ATA の電源がオンになっていることを確認します。電源/システム LED は緑色に点灯し、点滅していないはずです。

電源 LED が点滅している場合は、モデム、ATA、接続されたデバイスを含むすべてのネットワークデバイスの電源をオフにします。30 秒待機します。次に、次の順序で各デバイスの電源を入れます。

1. ケーブルまたは DSL モデム
2. ATA
3. 接続されたデバイス

**ステップ 2** ケーブル接続を確認します。インターネット (WAN) ポート内のケーブルが、モデムや ADSL 回線などのインターネットアクセスを提供するデバイスに確実に接続されていることを確認します。Cisco ATA 192 で、イーサネット (LAN) ポートのケーブル接続を確認します。

**ステップ3** ネットワーク設定>インターネット設定 ページにある設定を確認します。インターネットサービスプロバイダーが指定した設定を入力していることを確認します。

## ファームウェアをアップグレードしたが、ATA が正常に動作しない

アップグレード後に ATA が正常に動作しない場合は、工場出荷時の設定へのリセットを実行する必要があります。管理>工場出荷時のデフォルト ページから、ATA をデフォルト設定にリセットします。または、リセットボタンを20秒間押し続けます。ユーザが変更可能なデフォルト以外の設定は失われます。これには、ネットワークおよびサービスプロバイダーのデータが含まれる場合があります。

## DSL サービスを使用して、インターネットに手動で接続できない

ATA をインストールすると、サービス プロバイダネットワークに自動的に接続するため、手動で接続する必要がなくなります。

## ダイヤルトーンが聞こえず、電話 1 または 2 の LED が緑に点灯していない。

### 手順

**ステップ1** 電話機が適切なポート、電話 1、または 2 に接続されていることを確認します。

**ステップ2** 電話機のポートから RJ-11 電話ケーブルを取り外し、再接続します。

**ステップ3** 電話機のトーン設定 (パルスでない) が設定されていることを確認してください。

**ステップ4** ネットワークにアクティブなインターネット接続があることを確認してください。

インターネットにアクセスしてみて、ATA WAN の LED が緑色に点滅しているかどうかを確認します。接続が存在しない場合は、モデム、ATA、およびコンピューターを含むすべてのネットワークデバイスの電源をオフにします。30秒間待機します。次に、次の順序で各デバイスの電源を入れます。

1. ケーブルまたは DSL モデム
2. ATA

### 3. コンピューターとその他のデバイス

**ステップ5** クイックセットアップページで設定を確認します。サービスプロバイダーに必要なアカウント情報と設定が入力されていることを確認してください。音声>情報ページの回線1または回線2のステータスセクションで、登録状態が登録されていることを確認します。回線が登録されていない場合は、ITSPに問い合わせて、追加の設定が必要かどうかを確認します。

## インターネットフォンのコールを発信するとオーディオが分割される

考えられる原因と対処方法を次に示します。

- ネットワークアクティビティ: 特に、サーバを実行している場合やファイル共有プログラムを使用している場合は、ネットワークが大量に動作している可能性があります。インターネットの通話中は、ネットワークまたはインターネットの動作を制限してください。たとえば、ファイル共有プログラムを実行している場合、ファイルをダウンロードしていないにもかかわらず、ファイルがバックグラウンドでアップロードされる可能性があるため、インターネットフォンのコールを行う前にプログラムを終了していることを確認してください。
- 帯域幅: インターネット通話のコールに利用可能な帯域幅が不足している可能性があります。オンラインで利用可能ないずれかの帯域幅テストを使用して、帯域幅をテストすることができます。必要に応じて、インターネット電話サービスのアカウントにアクセスし、サービスの帯域幅要件を減らします。詳細については、ITSPのWebサイトを参照してください。

**Web ブラウザを開いたときに、ユーザ名とパスワードを入力するよう求められます。このプロンプトを無視する方法を教えてください。**

Web ブラウザを起動して、次の手順を実行します (これらの手順は Internet Explorer 固有ですが、他のブラウザでも同様です)。

#### 手順

**ステップ1** [ツール]>[インターネット オプション] を選択します。

**ステップ2** 接続タブをクリックします。

DSL 電話回線が ATA WAN (インターネット) ポートに適合しません。

ステップ3 接続にダイヤルしないを選択します。

ステップ4 OKをクリックします。

---

## DSL 電話回線が ATA WAN (インターネット) ポートに適合しません。

ATA からモデムが置き換えられません。ATA を使用するためには、DSL モデムが必要です。電話回線を DSL モデムに接続します。

## 使用しているモデムにイーサネットポートがありません

モデムがイーサネットポートを備えていない場合は、従来のダイヤルアップサービスのモデムであることを示しています。ATA を使用するには、ケーブル/DSL モデムと高速インターネット接続が必要です。

## ATAは、ケーブル接続用の同軸ポートを備えていません。

ATA からモデムが置き換えられません。ATA を使用するためには、ケーブルモデムが必要です。ケーブル接続をケーブルモデムに接続します。